

目次

Things Cloud の利用	1
事前準備	1
ファームウェア更新	1
接続情報の設定	1
Thinga Cloud ヘデバイス登録	2
登録情報の確認	4

Things Cloud の利用

Things Cloud は、NTTコミュニケーションズが提供するセンサー/デバイス接続からデータ収集、可視化、分析、管理などIoTの導入に必要な機能を実現できるApplication Enablement Platformです。

事前準備

接続にはThings Cloud のアカウントが必要です。

ファームウェア更新

Things Cloud との接続を行うエージェントを搭載したファームウェアをMA-E300シリーズに設定します。

File	Stat	SHA1SUM	Note
mae3xx_trusty_thingscloud_v2_8_4rc2.img	2018/06/06 13:39 81.7 MB	ccd20ce35b80498513f71f4d249a7913a1022a31	



インターフェース
通信モジュール
PPPoE
フィルタ
バーチャルサーバ
シリアル変換
DHCP
NTP
WarpLink
シスログ
ファームアップデート
設定データ管理
停止・再起動
日付・時刻
本装置設定

ファームアップデート

ファームバージョン

現在のバージョン MA-E3xx firmware version 2.8.4beta1 (Wed Mar 14 11:45:01 JST 2018)

ファームアップデート

ファイル名 mae3xx_trusty_thingscloud_v2_8_4rc2.img
ファイルサイズ 85643907
ファイルハッシュ値 9a9c92ee76ceee00ed6f46a41d02f952e62f7867

設定

接続情報の設定

ファームウェア更新後 WebUI の「Things Cloud設定」を行います。
設定するとエージェントが再起動し接続を開始します。

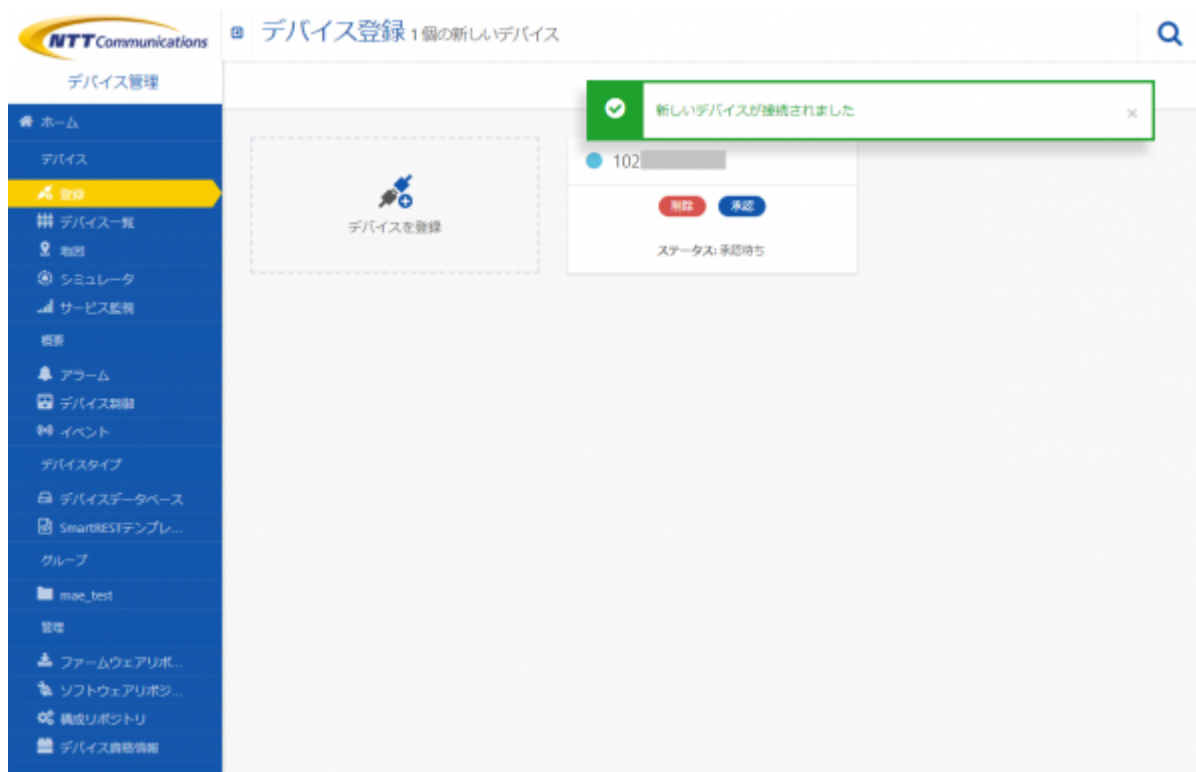


Thinga Cloud ヘデバイス登録

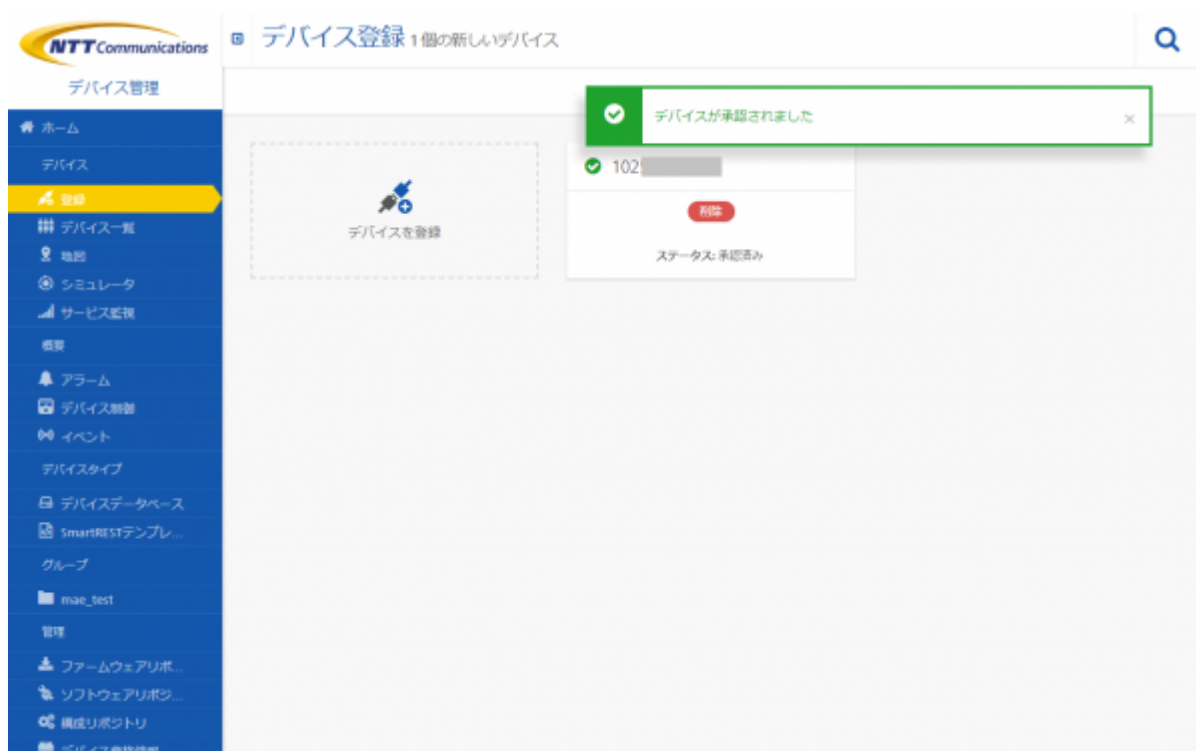
Things Cloud のページをWebブラウザで開き、「デバイス登録」ページに移動します。
デバイスIDに MA-E300 の底面に記載してあるシリアルNo.を入力し登録します。



デバイス登録後 MA-E300 からの接続があると承認ボタンが表示されます。



承認ボタンを押すとMA-E300が Things Cloud に登録されます。

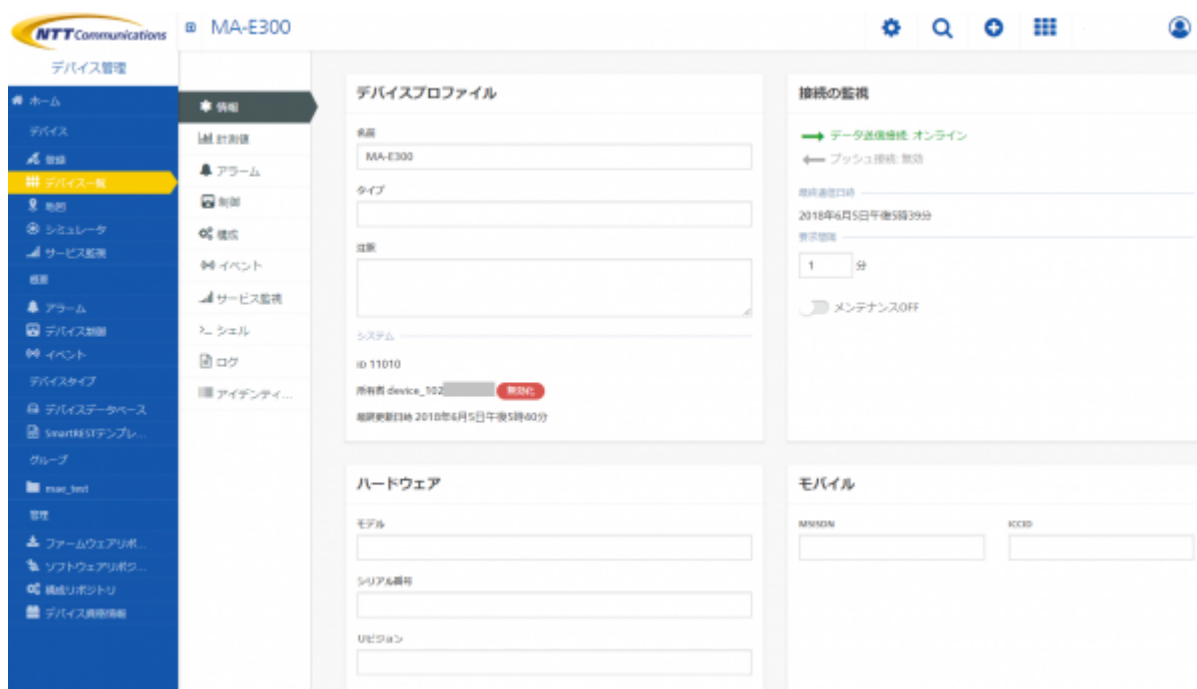


登録情報の確認

「デバイス一覧」ページへ移動するとMA-E300のWebUIで設定したデバイス名のデバイス表示されます。

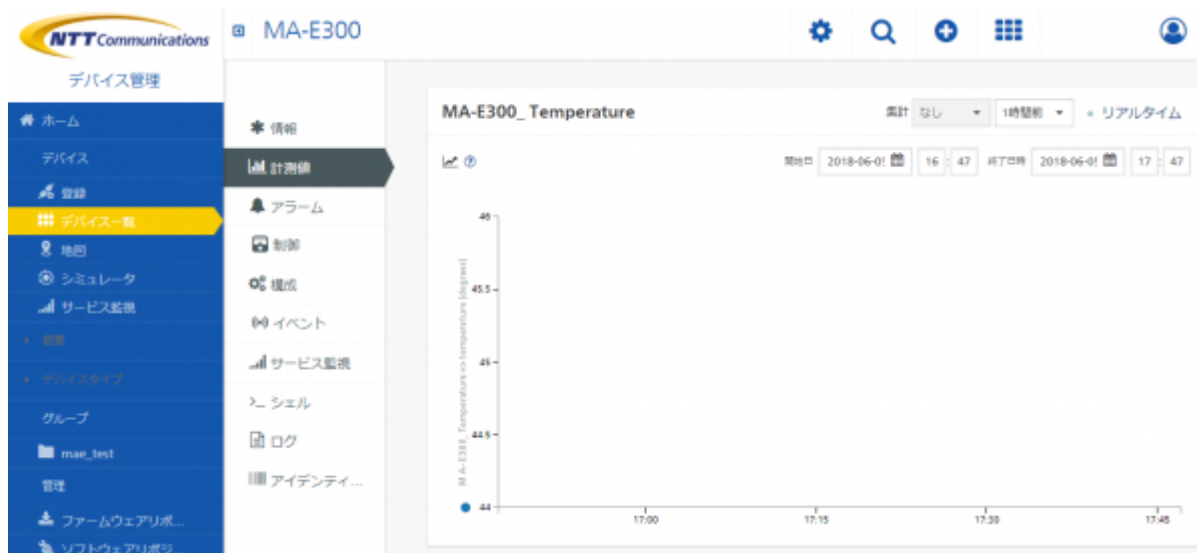


デバイス名を押すと登録情報が表示されます。



ThingsCloud への登録が完了するとMA-E300はオンボード温度センサーの情報を定期的にアップロードします。

アップロードした温度情報は「計測値」タブを選択すると確認できます。



各種センサー対応□Things CloudからMA-E300の制御など
要望に応じて機能追加が可能です。

From:

<https://centurysys.net/> - **MA-X/MA-S/MA-E/IP-K Developers' WiKi**

Permanent link:

https://centurysys.net/doku.php?id=mae3xx_tips:thingscloud:start

Last update: **2018/06/06 13:41**